令和５年５月２１日

個人情報漏えいに関するお詫びとお知らせ

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、２０２１年１２月１日に、個人情報を保管していた事務所が、１０数人の見知らぬ者たちによって押し込み強盗され、当社の保管する個人情報などを窃取され、破棄や売却などされたことが判明しましたので、お知らせいたします。

関係者含む皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

本件の経緯及び今後のご対応について、下記のとおりご報告いたします。

記

１．　事実の概要

建設業である当社は、取引先の信用調査記録や作業員名簿などの個人情報を管理していましたが、２０２１年１２月１日の強盗被害で窃取され、同年１２月２７日頃、個人情報を紛失して、個人情報が漏えいした事実が判明いたしました。

２．　個人情報の内容

当社は、日本国憲法第１５条の「公務員」様の個人情報や取引先様の企業信用調査記録、法人個人様の秘密鍵など１０万人を超える重要な個人情報を管理しておりました。

３．　漏えいの原因

当社は、全国の大規模開発プロジェクトへの事業推進や、反社会的勢力の総本部のビルの売却の協力、工事未収金の催告などを続けておりました。

２０２１年１２月１日の武力行使による強盗事件はその報復であったと確信しています。

４．　その後の対応状況

強盗事件の当社担当者が、事故時より警察の捜査に全面的に協力しております。また、外部のセキュリティ専門家も招聘し、データベースなどの安全確保のための緊急対策を講じ、不審者などを抑止するための活動を開始しました。

２０２３年３月４日、窃取された個人情報などの機密書類が未だに発見されないため、重大な問題である個人情報の漏えい事実について天理警察署に刑事告訴を行いました。また、当社が独断において、示談し、告訴の取り下げを行わないことも併せて上申しました。

５．　被害者様への損害賠償の補償

当社は、東京海上日動火災保険株式会社の「賠償責任保険」（保険期間令和３年６月４日から令和４年６月４日までの１年間、１事故または１請求、支払い限度額５０億円、証券番号Ý１６２４８５６８２）並びに、「超ビジネス保険（事業活動包括保険）」（保険期間令和３年４月１日から令和４年４月１日までの１年間、支払い限度額１０億円、証券番号Ｄ１２３５６０３００）に加入しております。また、本件個人情報を管理してい

た、合同会社クリンクリンナラも、東京海上日動火災保険株式会社の「賠償責任保険」（保険期間令和３年６月４日から令和４年６月４日までの１年間、１事故または１請求、支払い限度額５０億円、証券番号Ý１６２４８５６６８）並びに、「超ビジネス保険（事業活動包括保険)」（保険期間令和３年７月１日から令和４年７月１日までの１年間、支払い限度額１０億円、証券番号Ｄ１４２２４９９５２）に加入しております。また、被害者様への損害賠償の補償金が上記保険金額の合計１２０億円を超える損害に対しても誠実に対応致します。

※東京海上日動火災保険株式会社は、保険金を支払わない、支払わないようにする管理システムをしているため、被害者様におかれましては、何卒これらの諸事情をご賢察いただき、保険金支払いまでの交渉に時間がかかることのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

６．　再発防止のための対応

当社では、今回の事態を重く受け止め、今後このような事態が発生しないよう再発防止に向けて個人情報の管理強化・徹底に努め、信頼回復に全力を尽くして参ります。

具体的には、武力行使については、敷地境界に囲障を設置して、監視カメラを１５台以上設置しました。また、大手警備会社「セコム」と提携して、緊急時でも無線、有線など３回線以上の通信を設け、蓄電池、発電機器などの電源も確保して緊急時でも個人情報の漏えいを阻止します。

また、ハッキング組織による情報漏えいの対策として、機密情報と個人情報のデータ

ベースは、外部との通信を遮断して流出を阻止します。

　また、ウイルスに汚染されないことばかりでなく、外部にウイルスを伝染させない機器である「UTM」の設置・導入をし、サイバー攻撃への対策も施しました。

　当社が採用した UTM はセキュリティに関する１３の国際特許を保有し、Google や NEC 等にも技術を提供している LIONIC 社の日本総代理店である株式会社ビープラス（https://be-plus.co.jp/emotet.html）からＵＴＭを導入いたしました。

インターネット取引の新しいマナーとして、低価格で高機能な「UTM」の普及活動に取り組んでいきます。

株式会社豊は、デジタル・フォレンジック研究会に加盟しています。

以上

今般、厳重に管理すべき個人情報について、このような事態を起こしてしまい、誠に申し訳ございません。改めて、皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

敬具

株式会社　豊

代表取締役社長　三村　勝美

担　当：吉田　晟二　（０９０－２７７０－２３４６）

受付アドレス番号　　info@mangyoku-k.jp

受付ファックス番号：　０７４３－６３－４７３２

2023年5月21日

关于泄露个人信息的致歉与通知

致各位:恭祝各位日益康泰。

现已查明，敝司保管个人信息的办公室于2021年12月1日遭十多名陌生人入室抢劫，窃取、销毁、出售了敝司所保管的个人信息，特此通告。

本次事件给相关各方造成极大困扰与担忧，敝司深表歉意。

关于本次事件的经过以及今后的应对，报告如下。

记

1　事实概要

敝司从事建设行业，负责管理客户的信用调查记录和工作人员的名册等个人信息。敝司于2021年12月1日遭入室抢劫，个人信息被盗取，同年12月27日左右对于个人信息的丢失与泄露的事实得以查明。

2　个人信息的内容

敝司负责管理超过10万人的重要个人信息，包括日本宪法第15条所定“公务员”的个人信息、客户的企业信用调查记录，法人个人的秘密钥匙等。

3　泄露的原因

敝司一直致力于推进全国范围内的大规模开发项目，协助出售恶势力团伙总部大楼，催告未收工程款等。

敝司确信2021年12月1日的暴力抢劫事件是对此的报复行为。

4　之后的应对情况

抢劫事件的敝司负责人员，从事件发生起一直在全力协助警方的调查。另外，敝司还开展了聘请了外部的安全专家，采取了确保数据库安全的紧急对策，阻止可疑人员等措施。

由于窃取的个人信息等机密文件至今仍未被发现，2023年3月4日，基于泄露个人信息问题重大，敝司向天理警察署提起了刑事诉讼。另外，敝司已向警方表示，将不接受调停、不撤诉。

5　对受害者的损害赔偿

敝司已加入东京海上日动火灾保险株式会社的《赔偿责任保险》（保险期间为2021年6月4日至2022年6月4日的一年，针对每件事故或每件赔偿的支付限额为50亿日元，证券号码Ý162485682）以及《超商业保险（事业活动综合保险）》（保险期间为2021年4月1日至2022年4月1日的一年，支付限额为10亿日元，证券号码D123560300）。另外，另一家管理本次个人信息的公司，合同会社KURINKURINNARA也加入了东京海上日动火灾保险株式会社的《赔偿责任保险》（保险期间为2021年6月4日至2022年6月4日的一年，针对每件事故或每件赔偿的支付限额为50亿日元，证券号码Ý16248568）以及《超商业保险（事业活动综合保险）》（保险期间为2021年7月1日至2022年7月1日的一年，支付限额为10亿日元，证券号码D142249952）。另外，对于被害者的损失赔偿的补偿金超过

上述保险金额合计120亿日元的损失，敝司亦将诚实应对。
※因东京海上日动火灾保险株式会社采取不支付保险金、避免支付保险金的管理体系，望各位受害者体谅，向各位受害者支付保险金还需要一段时间进行交涉，衷心希望各位能够给予理解与协助。

６．为防止再发生的措施

敝司将高度重视此次事件，为了防止今后再次发生此类事件，我们将彻底执行强化个人信息的管理，竭尽全力恢复信任。

具体措施包括，在防止武力入侵方面，在用地边界设置围障，设置了15台以上的监控摄像头。另外，还与大型保安公司Secom合作，在紧急情况下设置无线、有线等三条路线以上的通信，确保蓄电池、发电机器的电源在紧急情况下也能防止个人信息泄露。

另外，为防止黑客组织入侵造成信息泄露，已切断机密信息和个人信息数据库与外部的通信，防止信息外泄。

此外，敝司还设置和引进了防止向外部传染病毒的机器“UTM”， 不仅保证免遭病毒污染，还可防止服务器攻击。

敝司采用的“UTM”拥有与安全相关的13项国际专利，同时我们从向Google和NEC等提供技术服务的LIONIC公司的日本总代理店——株式会社BEPLUS（https://be-plus.co.jp/emotet.html）那里引进了“UTM”。

作为互联网交易的新指标，敝司将致力于低价格、高性能的“UTM”技术的普及活动。

株式会社丰已加入数码取证研究会。

以上

本应严格管理的个人信息，这次却发生了这样的事故，敝司感到十分抱歉。给各位带来的诸多困扰和担忧，敝司谨此再次表示诚挚的歉意。

敬上

株式会社　丰
董事长社长　三村　勝美
负责人：吉田　晟二　（０９０－２７７０－２３４６）
受理邮件地址　　info@mangyoku-k.jp
受理传真号码　　０７４３－６３－４７３２